

捨てればごみ、分ければ資源

平成28年7月27日（水）に、前後区の方々・とよあけ生活学校の方々・豊明市職員が前後区の燃えないごみの分別状況について調査を行いました。結果は、裏面のとおりです。収集したごみの中には、スプレー缶、乾電池が混入していました。これらの行為は、ゴミ収集車の火災事故にもつながり危険でありその後のごみの処理にも影響が出ます。

また収集したごみの中には、資源が約28.4%混ざっていました。特に金属であるスチール類・アルミ類、ビン類といった資源が多くみられました。中身の入ったビン類、缶類、プラスチック製容器包装も目立ちました。平成28年度からは、スプレー缶・カセットボンベも資源として回収をしていますが、これらも混ざっていました。

小型家電については、約27.2%と全体の4分の1強を占めていました。小型家電は不燃ごみとしてもお出しいただけますが、指定の回収場所（平成28年度～ごみの分け方・出し方パンフレット参照）にお出しいただきますと、ごみの減量化や資源の有効利用につながりますので、ご協力をお願いいたします。



スプレー缶・カセットボンベは、使い切ってから、穴を開けずに資源として出してください。

缶だけではなく、フライパン、やかんなども資源です。



平成28年度 不燃ごみ組成調査結果

調査日 平成28年 7月27日 対象区域 前後区

分別種類	分別品目	重量 (kg)	重量比率 (%)
不燃ごみ (66.9%)	不燃ごみ計	86.4	39.7
	不燃ごみのうち家電	59.3	27.2
可燃ごみ(4.7%)	可燃ごみ計	10.3	4.7
	可燃ごみのうち生ごみ	0	0
資源(28.4%)	プラスチック製容器包装	0.8	0.4
	紙製容器包装	0.5	0.2
	牛乳パック	0	0.0
	衣類・布類	0	0.0
	ペットボトル	2.7	1.3
	アルミ	2.4	1.1
	スチール	47.9	22
	ビン(乳液・化粧水・整髪料・美容液・香水・育毛剤)	0.3	0.1
	ビン(飲食用)	3.5	1.6
	乾電池	1.4	0.7
	スプレー缶・ガスボンベ	2.2	1
粗大ごみ	粗大ごみ	0	0
合 計		217.7	100.0

